



教育学部 教員採用試験結果報告

うちの学生こんな学生 ～内定者特集～

・コミュニティアワー報告会 ・CA クリスマス会 ・課外活動成果報告



contents

教育学部 教員採用試験結果報告	01
教員採用試験合格者インタビュー	02
うちの学生こんな学生～内定者特集～	03
CAクリスマス会	07
2018年度「コミュニティワー報告会」	07
課外活動成果報告	08
卒業式袴レンタル展示受注会	10
ひとくちメモ	10
編集後記	10

教育学部教員採用試験

結果報告

2019年度公立小学校教員採用試験の結果は、1次試験現役合格者 57名、最終合格者 24名(内、現役生 20名)となり(原稿作成時点、1次試験現役合格者、最終合格者ともに昨年度を大きく上回る結果となりました。

大学では、大学独自の勉強会「志塾(こころ)

ざしじゅく)、週1回

土曜日に現職の教員と合同で実施している「志(こころざし)の会」、外部講師による「対策講座」、数学・国語・英語や教職教養など様々な講座を開講している「学習ステーション」など、教員採用試験現役合格に向けて様々なサポートプログラムを実施しています。

自治体別合格者数

自治体	合格者数
兵庫県	3名
神戸市	1名
大阪市	1名
岡山県	1名
岡山市	2名
香川県	2名
高知県	1名
愛媛県	2名
愛知県	2名
鳥取県	2名
島根県	2名
広島県・市	1名
福岡県	2名
神奈川県	1名
千葉県	1名
計	24名

森川 柊太さん

(教育学部児童教育学科 4年 兵庫県 日学園第三現甲ヶ丘高校出身)
福岡県公立小学校 教員採用試験合格



ゼミの先生からは子どもたち一人ひとりのことを考えて接することを教わり、教職支援室ではこの自治体を受験しようか迷っていた際、親身になって相談にのっていただきました。水泳が苦手だったので、スイミングスクールでアルバイトをし、大学のピアノ室でピアノの練習をするなど、自分の努力を積み重ねた結果が採用試験合格につながったと思います。

西尾 美紀さん

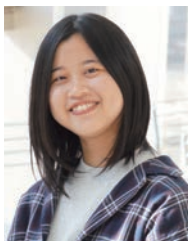
(教育学部児童教育学科 4年 徳島県 城南高校出身)
神戸市公立小学校 教員採用試験合格



「志塾」には毎回参加しました。また、ゼミが討論形式だったため、集団討論やつっこんだ質問などに柔軟に対応できる力が自然とつきました。学習塾のアルバイト経験も私自身の成長につながったと思います。3年生の2月からは採用試験対策も本格化。夜遅くまで採用試験に向けた勉強を友達と続け、ゼミの先生からもすぐサポートしていただきました。授業やアルバイトなど習慣的な取り組みが、自然と力となつて採用試験やこれからの現場経験にも活きていくと思っています。

谷口 真心さん

(教育学部児童教育学科 4年 香川県 高松商業高校出身)
香川県公立小学校 教員採用試験合格



合格発表の際、自分の受験番号を確認したときには、震えるくらい嬉しかったです。先生になりたいという子ども頃の憧れの夢のために努力を続けてきて良かったなと思いました。アクティブ・ラーニングや反転授業など指導力を身につける授業内容のおかげで、「模擬授業」に自信をもって取り組むことができました。

稲垣 真治さん

(教育学部児童教育学科 4年 兵庫県 網干高校出身)
高知県公立小学校 教員採用試験合格



小学校の先生になるという小さい頃からの夢が叶い、とても嬉しくて、合格がわかったときは泣きました。友人の中には、地元での合格を勝ち取った子もあり、地元の合格を獲得できなかった自分に悔しさもありましたが、採用された方には、どこであつても先生として頑張っていきたいです。関西福祉大学は、採用試験に向けて1年から対策があり、自然と勉強する習慣が身についたと思います。また、現場体験も多く、早いうちから「憧れ」が明確な「目標」となったことも合格に結びついた要因だと思っています。

田淵 美帆さん

(教育学部児童教育学科 4年 岡山県 井原高校出身)
岡山市公立小学校 教員採用試験合格



教員採用試験に合格してとりあえず、ほっとしました。勉強は辛い時もあつたけど、同じ目標をめざしていた友人と一緒に頑張つて続けてきたからこそ、この結果につながったのだと思います。オープンキャンパススタッフなどの取り組みを通して、「コミュニケーション力や保護者の方との関わり方などを自然と身につけることができ、自分自身も成長することができました。授業以外の学びや体験も、これから現場に出た際、役に立つと思います。

山中 幹己さん

(教育学部児童教育学科 4年 愛媛県 吉田高校出身)
愛媛県公立小学校 教員採用試験合格



今までやってきたことが結果につながり、素直に嬉しかったです。これから先生として現場に出ることに、期待もあるけれど、もっと頑張つて成長していかなければいけないと実感しています。関西福祉大学の先生方は、自分と同じくらい親身になって自治体のことを調べてくれたり、勉強の仕方を考えてくれたりしました。先生の熱意が勉強を続けるモチベーションにもなりました。



山根 晴貴 さん
教育学部児童教育学科 4年
広島県 三次高校出身
広島県公立小学校教員採用試験 合格

1年次から「学習ステーション」を利用し、先生や外部講師の講座を受講しました。また、自然学校のボランティアやオープンキャンパススタッフなど、さまざまな活動にも積極的に参加しました。先生方は、面接指導や教科ごとの指導をしてくださり、「志塾」では、姫路市や赤穂市など現役の先生方による面接指導、集団討論の練習、現場の生の声を聞くことができました。何といっても、「福祉大学」だからこそ、社会福祉学科の先生方にも不登校やいじめなどについて教えていただき、児童福祉についてもしっかり学ぶことができたことが、合格につながったのだと思います。



小川 桐花 さん
社会福祉学部社会福祉学科 4年
徳島県 富岡東高校出身
徳島県美波町役場 合格

のんびりした田舎で人と関われる仕事がしたいという思いから、地元から近い町で公務員として町おこしに貢献したいと考えました。採用試験対策は、図書館にある公務員採用試験のテキストを使ったり、キャリア開発課で面接の練習をしていただいたりしました。実際に美波町に住み、住んでいるからこそ分かる町の良さや魅力を SNS などでも発信して、若者を呼び込みたいです。



和田 史乃 さん
教育学部児童教育学科 4年
兵庫県 姫路南高校出身
愛知県公立小学校教員採用試験 合格

一人では絶対に合格は勝ち取れなかったと思います。教育実習前には模擬授業を何度も行いました。実習で経験することを事前に学内で練習できたことや、常に先生が背中を押してくれたことが大きな支えになりました。技術面も精神面も、先生方や同じ目標に向かう仲間のサポートのおかげで成長できたことが、合格につながったのだと思います。先生、友人、そして親にも感謝の気持ちでいっぱいです。



坂井 優介 さん
教育学部児童教育学科 4年
岡山県 備前緑陽高校出身
岡山県公立小学校教員採用試験 合格

教員採用試験に合格できてホッとしました。教員採用試験の勉強を始めた時から、友達や先生のサポートがあったので、勉強が辛いと感じたことはありません。それよりも、本当に合格できるか、という不安はありました。なので、大学にある試験対策のプログラムはすべて受けました。とにかく用意されているものは全部やってみようというのが良かったと思っています。不安に押しつぶされそうな時は、教育実習先の児童たちからもらった色紙を見返していました。「絶対先生になる」という気持ちが強く持てるからです。大学で用意されているプログラム、支えてくれる先生を信じて一生懸命やってほしいと後輩にアドバイスしたいです。



小幡 元喜 さん
社会福祉学部社会福祉学科 4年
兵庫県 飾磨高校出身
株式会社セイバン 内定

地元で働き、モノづくりがしたいという思いから内定先の株式会社セイバンの説明会に参加しました。ランドセルで有名な人気企業でしたが、誰の意見でも採り入れてくれる社風と、新工場設置に伴い採用増もあるとのことだったのでチャレンジしました。高校・大学で学んできた福祉の視点を活かし、つくるだけではなく、新しいアイデアも出しながら地域に貢献したいと思います。



真治 綾花 さん
社会福祉学部社会福祉学科 4年
高知県 土佐女子高校出身
兵庫県社会福祉事業団 内定

大学で福祉全般を学んだことで、分野を絞らずにさまざまな分野で活躍したいと考え、社会福祉事業団を選びました。スクールソーシャルワーカー養成課程で、親子交流行事の副リーダーを経験し、「人を支える」ことの難しさ、チームで何かをやり遂げる苦労なども実感しましたが、それ以上に喜びや達成感を感じることができました。福祉の現場で協力し合いながら、たくさんの人を支えていく仕事がしたいと思います。



西角 尚也 さん
社会福祉学部社会福祉学科 4年
兵庫県 相生産業高校出身
西はりま消防組合 合格

試験前は、毎日図書館で勉強し、キャリア開発課の職員の方に面接練習や小論文の添削をしていただくなどの対策もしました。また、消防士をめざすならボランティアに参加することをお勧めします。災害の被災地に実際に行き、被害の状況を目の当たりにすることで、自分が何をすべきなのかを考えることができます。人命救助のスペシャリストになるため、これからもがんばっていききたいと思います。



巽 由佳 さん
社会福祉学部社会福祉学科 4年
大阪府 宣真高校出身
阪神福祉事業団 内定

社会福祉現場実習を経験したことで、高齢者だけではなく、さまざまな福祉分野に興味を持つようになりました。関西福祉大学では4年間ゼミ（演習）があるので、先生や同学年の仲間との距離感がとても近くなります。大学で得た信頼関係の築き方を基に、利用者さんだけでなく、その家族支援もできるような支援員になりたいと思います。



三柳 千尋 さん

看護学部看護学科 4年
兵庫県 姫路東高校出身
明石市（保健師） 合格

SPI や学力試験もちろん大切ですが、保健師は人柄や面接評価も重視されることから、実習でのエピソード、現場で感じたこと、「保健師としてこうありたい」と思ったことをまとめるように心がけました。また、他学部の公務員をめざす人たちとの集団面接の練習は、実際の面接での他業種を志望する方との集団討議にとても役立ちました。保健師として、今ある課題に取り組むだけでなく、隠れた課題にも気がつくように市民の方と関わっていききたいです。



中納 拓哉 さん

看護学部看護学科 4年
大阪府 金光大阪高校出身
高槻病院 内定

小児看護の領域に興味があり、大阪府下最大の NICU・GCU を有し、先輩が就職していることから内定先である高槻病院を志望しました。NICU には、男性看護師が少なく、家族支援を行う上でも母親メインの文献が多い中、父親への支援を男性看護師として行っていきたいです。看護師としてレベルアップするために資格取得や勉強を続けながら、着実にステップアップしていききたいです。



森光 華蓮 さん

看護学部看護学科 4年
香川県 津田高校出身
香川県立中央病院（助産師） 内定

助産師をめざしていたので、母性分野の講義はどれも楽しかったのですが、助産学実習に行くと臨床で学ぶことも多いと身をもって感じました。関西福祉大学では、4年間で看護師と助産師の受験資格を取得でき、実習時も先生がついてくださり、国家試験に向けての対策講座や模試、勉強会も充実していました。知識と技術をもっと身につけ、頼られる助産師になりたいです。



戸田 愛良 さん

看護学部看護学科 4年
岡山県 総社南高校出身
川崎医科大学総合医療センター 内定

川崎医科大学総合医療センターは岡山市の中心部にあり、地域住民からも信頼のある病院です。看護師が働きやすい制度や環境、キャリアアップのための教育制度なども充実しており、自分がさまざまな職種の方と働きながら、知識を身につけ、成長することで、より質の高い看護を提供できると思い志望しました。将来的には、認定看護師や専門看護師などもめざしたいです。



中司 幸康 さん

教育学部児童教育学科 4年
岡山県 瀬戸高校出身
岡山県警察 合格

一般教養や面接の対策は、キャリア開発課の職員の方に指導していただき、試験の傾向や勉強の方法も教えていただきました。面接練習では、集団面接や個別面接などいろいろなタイプの面接を想定して練習を重ねました。教育学部では心理学系の講義もあり、特に「認知心理学」では人の動き、行動などから心理を読み取ることを学び、現場に出てからも役立つと思っています。



藤野 英輝 さん

教育学部児童教育学科 4年
兵庫県 伊川谷北高校出身
加古川市（保育士・幼稚園教諭） 合格

就職先を考える際、キャリア開発課の方が各自治体の施策や試験内容などを細かく調べてくださり、その中でも加古川市は、まさに理想とする自治体でした。認定心理士の資格も取得するので、保育や幼児教育の件場でも役立つと思います。保育士・幼稚園教諭として男性だからできること、男性の視点も生かしながら、意欲的に学ぶ姿勢をもって成長していききたいと思っています。



江崎 茜 さん

看護学部看護学科 4年
兵庫県 赤穂高校出身
赤穂市民病院 内定

内定先の赤穂市民病院は、病院の奨学金制度を利用しており、家から近く、知人や大学の先輩も就職しているので安心して働くことができると思いました。関西福祉大学は先生方や同級生とも距離が近く、みんなが仲の良い雰囲気なので、人間関係に悩むことなく勉強に集中できました。患者さまからも同僚のスタッフからも信頼される看護師になることが目標です。



小西 真央 さん

教育学部児童教育学科 4年
兵庫県 東播磨高校出身
赤穂市（保育士・幼稚園教諭） 合格

関西福祉大学に選んだ理由は、保育士と幼稚園教諭が取得できる4年制大学であること。そして、「教育・保育インターンシップ」など実践的な学びがあることに魅力を感じたからです。赤穂市の出身ではありませんが、保育所、幼稚園実習で赤穂の子どもたちと接したとき、この街で保育士・幼稚園教諭として働きたいと強く思いました。ゼミの先生や実技の先生、赤穂市のことをよく知る先生など、たくさんの先生に相談しながら対策を練ったことが合格につながったと思います。

硬式野球部

創部以来初のプロ野球選手誕生

指定強化クラブとなって第1期生の奥西亮介選手(社会福祉学部社会福祉学科 4年 岡山県 備前緑陽高校出身)が関西独立リーグの06ブルズ(東大阪市)に入団することが決定しました。創部以来、社会人野球に進んだ選手はいましたが、プロ野球選手(独立リーグを含む)となるのは同選手が初となります。奥西選手の今後の活躍とさらなる飛躍に期待したいと思います。

部としては、リーグ戦2部西で春季・秋季ともに3勝5敗の3位という結果で、優勝することができず悔しい思いをしました。来年は勝率5割以上と優勝争いに加わることを目標に日々の練習に取り組んでいきたいと思います。



陸上競技部

赤穂シティマラソン ハーフ男子 総合8位入賞

11月11日に開催された第8回赤穂シティマラソン ハーフ男子において、栗林邦宜さん(社会福祉学部社会福祉学科 3年 兵庫県 明石西高校出身)が総合8位入賞を果たしました。栗林さんは5月に行われた第95回関西学生陸上競技対校選手権大会 男子1,500mにて4分2秒32の好タイムで予選通過し、決勝に進出、6月に行われた秩父宮賜杯 第71回 西日本学生陸上競技対校選手権大会(西日本インカレ)にも出場した経歴がありますが、専門外のハーフマラソンでの入賞は大健闘だったと思います。

また、阿南 快さん(教育学部保健教育学科 1年 兵庫県 西脇工業高校出身)が同種目で総合50位をはじめ他の部員も力強い走りを見せてくれました。



サッカー部

創部4年で初の1部昇格!!

4月に開幕した関西学生サッカーリーグ(2部Aリーグ)は、12チームの2回戦総当たり方式(前期・後期)を行い、前期は8勝2敗1分で関西福祉大学、大阪産業大学、大阪経済大学の3チームが勝点で並ぶ混戦状態となり、9月16日から始まった後期においても3チームが順調に勝点を積み上げて優勝争いを繰り広げてきました。

11月24日(土)の最終節において、自動昇格をかけた大阪産業大学との試合に敗れ、12月2日(日)の1部-2部A入替戦において、みごと大阪学院大学に1-0で勝利し、1部昇格が決定いたしました。2010年を最後に入替戦において、2部Aの大学が1部の大学に勝利したことはなく、7年間14試合の全てが1部チーム残留という結果が続く中、本学が歴史的勝利をおさめました。

また、リーグ戦以外でも、今年から赤穂市内の幼稚園を対象としたサッカーの巡回指導をスタートさせました。初年度の今年は、5月から12月にかけて計14回の巡回指導を実施し、参加した園児たちにも大変好評でした。普段はプレーする側の学生がコーチとなって園児たち向けのトレーニングを計画して指導するといった経験は、学生自身のプレーにもいい影響があると思います。こういった取り組みが赤穂市のサッカーの普及・発展の一助になれば幸いです。



CAクリスマス会



オープンキャンパスや学内広報のための学生スタッフをCA(キャンパス・アテンダント)と呼び、さまざまな場面で活躍しています。4月からマナー研修、実務研修などを経て、1年間CAとして活動します。社会人基礎力が身につく、実習や就職活動にも役立っています。

平成30年12月22日(土)に1年間の活動の打ち上げを兼ねたクリスマス会を開催しました。

軽食やジュースなどを囲み、プレゼントをかけたクリスマスカード探しゲームも実施し、大いに盛り上がりました。特に、サプライズの特大ケーキでは歓声があがり、金沢教育学部長とCAを代表して山根晴貴さん(教育学部児童教育学科 4年)のケーキ入刀後にみんなで分けておいしくいただきました。



2018年度「コミュニティアワー報告会」実施報告

テーマ:地域と共考 ～共に考える私たちの福祉の心～



12月15日(土)、「地域と共考～共に考える私たちの福祉の心～」をテーマに、社会福祉学部2年次生が『演習・コミュニティアワーⅡ』という授業で、学生がキャンパスを離れてフィールド(研究対象の現地)を訪れ、障がい者、地域・ボランティア、高齢者、精神保健・医療、心理・児童、スポーツなどさまざまな社会福祉の側面からフィールド調査や実践活動を展開してきた成果を発表するコミュニティアワー報告会が開催されました。

今年のテーマは、ゼミの代表学生18名が考案したもので、当日は、開催20回目の記念にふさわしく、参加者も学生・教職員・市民を含めて250名余が集いました。また、報告会の進行管理は各ゼミの代表学生が実行委員会を組織し行いました。

学生・市民の皆様からは、全8クラスの報告に対して多くの示唆に富むご意見やご質問をいただきました。コメンテーターの先生方からもそれぞれ独自の見解や説明が披露され、発表学生や聴講学生に多くの学びをもたらさせていただきました。

ご協力いただきました方々をはじめ、多くの地域の方々に改めてお礼を申し上げます。



実行委員会のメンバー

ひとくちメモ

2019年1月11日現在

- 開 学：平成9年(1997年)4月
- 開 設：(社会福祉学研究科修士課程)平成21年(2009年)4月
(看護学研究科博士前期課程)平成24年(2012年)4月
(看護学研究科博士後期課程)平成29年(2017年)4月
(教育学研究科修士課程)平成30年(2018年)4月
(発達教育学部)平成26年(2014年)4月
(教育学部)平成30年(2018年)4月(発達教育学部を名称変更)
(保健教育学科)平成30年(2018年)4月
- 学部・学科：社会福祉学部・社会福祉学科
教育学部・児童教育学科
教育学部・保健教育学科
看護学部・看護学科
- 大学院：社会福祉学研究科修士課程
看護学研究科博士前期課程
看護学研究科博士後期課程
教育学研究科修士課程
- 学 長：加藤 明
- 教員数：専任(助手を含む)
社会福祉学部 18名
教育学部 25名
看護学部 30名
社会福祉学研究科(8名)
看護学研究科(18名)
教育学研究科(10名)
- 職員数：51名
- 学生数：社会福祉学部 433名
教育学部児童教育学科 293名
教育学部保健教育学科 77名
看護学部 375名
社会福祉学研究科修士課程 4名
看護学研究科博士前期課程 15名
看護学研究科博士後期課程 7名
教育学研究科修士課程 5名
- 教員一人あたりの学生数：社会福祉学部 24名
教育学部 14名
看護学部 12名
- 卒業生数(学部)：累計 4,769名
- 卒業生数(大学院)：累計 38名
- 社会福祉士合格者数：累計 1,525名(※累計人数は全て既卒者込み)
- 精神保健福祉士合格者数：累計 295名
- 看護師合格者数：累計 754名
- 保健師合格者数：累計 424名

編集後記

会員の皆様、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
これから大学職員として一番忙しい時期を迎えます。4年次生の卒業に向けた準備と新入生の入学に向けた準備が並行し、各学年の成績判定などもあり目の回るような忙しさです。そんな中、世間ではインフルエンザが今年も大流行しており、息子の通う保育所や小学校でも学級閉鎖や学年閉鎖が出るなどしているようです。繁忙期に体調を崩さないよう、しっかり予防して体調管理に努めたいと思います。(H)

2019年になって早くも1か月が過ぎました。毎年のように思うのですが、年が明けてから4月の終わりごろまでは本当にあっという間に過ぎていく感じです。その間に卒業式や入学式があり、慌ただしい中で準備をしていると忘れがちなのですが、卒業生や入学生にとってはもちろん、保護者の皆様にとっても大きな節目となる行事であることをもう一度しっかりと認識し、何事もなく、滞りなく式典が挙行されるよう、しっかりと準備し、卒業生には晴れやかな卒業を、入学生には希望に満ちた入学を迎えていただきたいと思います。(T)



卒業式袴レンタル展示受注会

10月23日(火)から25日(木)の3日間、大学4号館のロビーで卒業式用の袴レンタルの展示受注会を行い、多くの4年生の学生が袴を選びに訪れていました。

大学の卒業式は、高校までの制服での卒業式とは異なり服装の指定がなく、自分好みの袴やスーツ、ドレスなどで出席できることから、大学で袴レンタルの展示会があればうれしいとの学生の声を受け、4年前から複数の企業様のご協力のもと、卒業準備委員会の学生が主体となって企画・運営をしています。3月の卒業式での学生さんたちの華やかな姿が今から楽しみです。



課外活動成果報告

男子バレーボール部

秋季リーグ2部4位

9月から10月に行われた秋季リーグ戦2部では、4勝3敗 勝ち点11でリーグ戦を終えました。2位から4位が勝ち点11で並ぶ大混戦の中、惜しくもセット率で及ばず4位という結果でしたが、春季・秋季の1年間を通して2部リーグで戦え、最後まで1部との入替戦圏内を争えたことは大きな経験と自信につながったと思います。



剣道部

全日本学生剣道優勝大会出場

10月28日に開催された第66回全日本学生剣道優勝大会に男子団体として11年ぶりに出場を果たしました。結果は1回戦で環太平洋大学に2-2の代表戦で惜しくも敗退しました。チームでつなぐ1本の重さ、勝ちきることの難しさを改めてしり、また全国の舞台上で戦えるよう、部員一丸となって頑張っています。



吹奏楽団

兵庫県アンサンブルコンテスト 銀賞受賞

2019年1月20日に高砂市文化会館にて開催された第46回兵庫県アンサンブルコンテストにおいて、打楽器3重奏で出場した学生が銀賞を受賞しました。11月より新たな指導者を迎え、このアンサンブルコンテストを目標に練習を重ねてきた成果が出せたと思います。
また、コンテストのほかにも赤穂シティマラソンの沿道での応援演奏や相生・赤穂市郡歯科医師会設立30周年記念式典・祝賀会での演奏、TOTOバスクリエイト株式会社の工場リモデルフェアでの演奏、指定障害者施設もちの木園での交流演奏会など地域や団体、企業からの出演依頼も受け、地域貢献にも力を入れています。



女子バレーボール部

秋季リーグ戦6部 完全優勝

2018年度に発足した女子バレーボール部は、春季7部からスタートしました。その7部で完全優勝(5戦全勝)し6部へ昇格、秋季6部でも1セットも失うことなくまたも完全優勝(7戦全勝)で5部昇格を決めました。チーム発足以来、リーグ戦ではいまだに1セットも失っておらず、破竹の勢いで5部でも優勝を目指します。
11月に行われた兵庫インカレでは、1部リーグ所属の園田女子大学を2-0、2部リーグ所属の兵庫大学を2-1で破り、決勝リーグに進出を果たしました。

また、主将の川上理梨奈さん(教育学部児童教育学科 1年 鹿児島県 鹿児島南高校出身)は、第73回国民体育大会(福井国体)の兵庫県代表メンバーにも選出され、兵庫県の5位入賞に貢献しました。

さらに、2月から3月にかけて、マックスバリュートと合同チームで「全国6人制リーグ男女優勝大会 決勝大会」に出場することになりました。全国の強豪10チームと各地(山梨・東京・愛媛・長野・新潟)でのリーグ戦が予定されており、本学女子バレーボール部員の活躍が期待されます。

